

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

「注意事項等情報」改訂のお知らせ

販売元



株式会社フェルゼンファーマ
札幌市中央区北10条西24丁目3番地

製造販売元



株式会社 **バイオメディクス**
東京都港区港南2-15-2

Ca・骨代謝改善 1 α -OH-D₃製剤
アルファカルシドールカプセル
劇薬

アルファカルシドールカプセル0.25 μ g「BMD」 アルファカルシドールカプセル0.5 μ g「BMD」 アルファカルシドールカプセル1.0 μ g「BMD」 ALFACALCIDOL Capsules

2024年2月

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。
さて、このたび標記製品の「注意事項等情報」を改訂致しましたので、ご案内申し上げます。
今後のご使用に際しましては、改訂内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

<改訂内容（2024年2月改訂）>（該当部分のみ抜粋）

「10.2 併用注意」の項の記載を一部改訂し、以下のように改めました。

下線部：追記・変更箇所

改訂後（新記載要領）			改訂前（旧記載要領）		
10. 相互作用 10.2 併用注意（併用に注意すること）			2. 相互作用 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
マグネシウムを含む製剤 酸化マグネシウム、 炭酸マグネシウム等	高マグネシウム血症が起きたとの報告がある。	他のビタミンD誘導体と同様に腸管でのマグネシウムの吸収を促進させると考えられる。	マグネシウムを含む製剤 酸化マグネシウム、 炭酸マグネシウム等	高マグネシウム血症が起きたとの報告がある。	不明
	ミルク・アルカリ症候群（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があらわれるおそれがある。	血中マグネシウムの増加により代謝性アルカローシスが持続するため、尿細管でのカルシウム再吸収が増加する。			
〈変更なし〉			〈省略〉		
PTH製剤 テリパラチド等 PTHrP製剤 アバロパラチド 酢酸塩 [8.1-8.3参照]	高カルシウム血症があらわれるおそれがある。	相加作用による。	PTH製剤 テリパラチド	高カルシウム血症があらわれるおそれがある。	相加作用

<改訂理由>

同一成分薬での報告例が集積され、相互作用が発現する可能性があるため改訂いたしました。
本情報は、医薬品安全対策情報(DSU) No. 324(2024年3月)に掲載される予定です。

また、弊社製品のご使用にあたって副作用等をご経験の際には、弊社までご連絡くださいますよう、
お願い申し上げます。

今回の「注意事項等情報」改訂を反映した電子化された添付文書情報につきましては、以下よりご確認ください。

- ・株式会社ビオメディクス 医療関係者向けサイト(<https://biomedix.co.jp/medical/>)
- ・株式会社フェルゼンファーマ 医療関係者向けサイト(<https://www.feldsenfpharma.co.jp/product.html>)
- ・医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>)
- ・「添文ナビ」※にて個装箱等に表示のGS1バーコードを読み取る

※「添文ナビ」のインストールや使用方法は日薬連のホームページをご覧ください。
(<http://www.fpmaj.gr.jp/Library/eMC/>)

【お問合せ先】

お問合せ先：株式会社フェルゼンファーマ

TEL：03-6368-5160